

11/23 (祝・水) 自転車イベント初開催!

矢板運動公園で、「やいた輪^わ博 2016 ~秋のりんりん大運動会」が開催されました。このイベントは、自転車を通して市の魅力を発信するとともに、3月31日~4月2日に開催される自転車ロードレース「第1回ツール・とちぎ」の認知度向上を目的として行われたものです。当日は、自転車愛好者や家族連れ約300人訪れ、イベントを楽しみました。また、市内約30キロのコースを散策するポタリングには、県内外から約70人が参加し、矢板の秋の景色や味覚を堪能しました。



11/27 (日) 片岡コミュニティ文化祭

26日(土)からの2日間、片岡公民館で、「片岡地区コミュニティ文化祭」が開催されました。この文化祭は、片岡地区の芸術文化振興や地域の交流を目的として開催されており、今年で37回目を迎えます。公民館内には、写真や絵画などが多数展示され、コミュニティホールでは、片岡地区の小・中学生の合同合唱が行われるなど、訪れた方たちを楽しませました。参加したスタッフは、「片岡地域の絆はとて強いと感じている。次世代に引き継いでいきたい」と話していました。



冬の夜を彩る駅前イルミネーション開催中!

11月25日(金)に、矢板駅前でイルミネーションの点灯式が行われました。点灯式では、すみれ幼稚園の園児たちによるハンドベル演奏が行われ、観客たちは澄んだ音色に耳を澄ませました。また、新たにメインツリーの光り方が音楽にあわせ変化する工夫も凝らしています。12月1日(木)には、片岡駅西口でも点灯式が行われました。東口に加え、今年から西口でもイルミネーションが開始されました。大人っぽい印象の西口、色とりどりの飾りで元気な雰囲気のある東口、趣向の異なる2つのイルミネーションが、訪れた方たちを楽しませました。



12/3 (土) 障がい者に理解を

文化会館小ホールで、「障がい者週間のつどい」が行われました。「障害者週間」にあわせ、障がい者への理解と意識啓発を目的に、市と市地域自立支援協議会が主催したものです。専門家からの講話、市内障がい者施設利用者による発表のほか、障がい者福祉体験が行われました。車いすを体験した方からは、「普段気にしない段差も障がい者目線で見ると大きな障害になることがわかった。みんなが幸せに暮らせる社会づくりには、その視点が大切だと思う」との感想がありました。



12/4 (日) ふれあいコンサート

文化会館大ホールで、「市民ふれあいコンサート」が開催されました。このコンサートは、市民の方に気軽に本格的な音楽に親しんでいただこうと市民有志が始めたもので、今回で5回目を迎えます。当日は、ヴァイオリン、ピアノ、ソプラノ歌手による三重奏やソロ演奏などが行われました。このほか、ヴァイオリンの演奏体験が行われたり、ともなりくんも登場し、会場の皆さんと一緒に手話をしながら歌うなど、会場が一体となった楽しいコンサートになりました。



12/6 (火) ヴェルフェ U-12 全国へ

市役所で、ヴェルフェたかはら那須U-12の「第40回全日本少年サッカー大会栃木県大会」の優勝報告会が行われました。昨年に続き、2大会連続での県大会優勝、全国大会出場となります。福田監督からは、「新人戦では予選リーグで敗退し、選手たちは悔しい思いも経験したが、努力を重ね、ここまで来ることができた。全国大会では、予選リーグを突破し、念願の決勝トーナメント出場を果たしたい」と熱い意気込みが語られました。



(上写真・上段左から)
・大森たかはら那須スポーツクラブ理事長
・鈴木たかはら那須スポーツクラブGM
・渡邊体育協会会長
・高橋サッカー協会副会長
・村上教育長
(上写真・下段左)
・福田監督
(上写真・下段中央)
・齋藤市長

12/6 (火) 市民の安心・安全を守る

市内で、矢板地区防犯協会による「防犯・防火診断」が実施されました。この取り組みは、犯罪の多発する年末や火災の発生が多い季節を迎えたことから、行政、矢板警察署、市消防団が安心・安全なまちづくり推進のために、市内各所の安全確認や市民への意識啓発を行っているものです。当日は、出発式の後、市内各所に分かれ、危険箇所の確認、パトロールなどを行い、「見せる」防犯・防火活動に取り組みました。

